

# ***GUARDIANWALL***

---

## **バージョンアップの手引き**

# 目次

0 アップデートの前に .....	4
1 ログイン .....	4
2 アップデート .....	5
2-1 製品の選択 .....	5
2-2 管理サーバーのインストール .....	6
2-2-1 管理サーバーのインストールメニュー .....	6
2-2-2 インストール先ディレクトリ容量確認 .....	7
2-2-3 インストール時ディレクトリ容量確認 .....	7
2-2-4 パッケージ確認 .....	8
2-2-5 サービスの停止 .....	8
2-2-6 パッケージの削除とインストール .....	9
2-2-7 データベースディレクトリの指定 .....	10
2-2-8 管理サーバーの起動 .....	11
2-2-9 インストール完了 .....	11
2-2-10 インストールメニューの終了 .....	12
2-3 検査サーバーのインストール .....	13
2-3-1 検査サーバーのインストールメニュー .....	13
2-3-2 インストール先ディレクトリ容量確認 .....	14
2-3-3 インストール時ディレクトリ容量確認 .....	14
2-3-4 パッケージ確認 .....	15
2-3-5 サービスの停止 .....	15
2-3-6 パッケージの削除とインストール .....	16
2-3-7 管理サーバーの起動 .....	17
2-3-8 インストール完了 .....	18
2-3-9 インストールメニューの終了 .....	18
2-4 管理 + 検査サーバーのインストール .....	19
2-4-1 管理 + 検査サーバーのインストールメニュー .....	19
2-4-2 インストール先ディレクトリ容量確認 .....	20
2-4-3 インストール時ディレクトリ容量確認 .....	20
2-4-4 パッケージ確認 .....	21
2-4-5 サービスの停止 .....	21
2-4-6 パッケージの削除とインストール .....	22
2-4-7 データベースディレクトリの指定 .....	23
2-4-8 管理 + 検査サーバーの起動 .....	24
2-4-9 インストール完了 .....	25
2-4-10 インストールメニューの終了 .....	25

---

<b>3 動作確認 .....</b>	<b>26</b>
3-1 管理サーバーへのバージョンアップの場合 .....	26
3-2 検査サーバーへのバージョンアップの場合 .....	27
3-3 管理 + 検査サーバーへのバージョンアップの場合 .....	27
 <b>4 アップデート時の注意点 .....</b>	 <b>28</b>
4-1 /varについて .....	28
4-2 /opt等がリンクの場合 .....	28
4-3 設定ファイルのバックアップについて .....	28
4-4 アップデート後のパッケージ確認 .....	28
4-5 評価用ライセンスでのアップデートについて .....	28
4-6 複数台の検査サーバーを管理する管理サーバーになる場合 .....	29
4-7 各種保存ディレクトリ設定値に関する注意事項 .....	29
4-8 カーネルチューニング .....	30
4-9 キーワード検査辞書の互換性 .....	31
4-10 cronについて .....	32
4-11 ネットワーク設定に関する注意事項 .....	32
 <b>5 Ver5.0以前からアップデートされる場合の注意点 .....</b>	 <b>33</b>
5-1 ディレクトリ変更について .....	33
5-2 サンプルスクリプトについて .....	33
5-3 通知文について .....	34

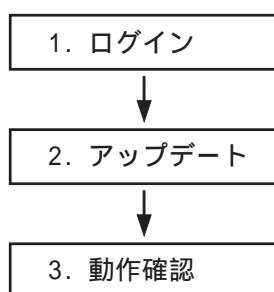
本マニュアルでは、GUARDIANSUITE(管理サーバー)Ver4.2以下や、GUARDIANWALL Ver7.2以下を新しいバージョンにアップデートする方法について説明します。

## 0 アップデートの前に

アップデートを行う前に、必ず稼働中の GUARDIANWALL を停止してください。  
アップデートを実施しますと、既存のバージョンに上書きインストールされますので、既存バージョンのシステムをアンインストールする必要はありません。

既存の各種設定やメールデータは、アップデート後もそのまま保持されます。

既存のシステムを停止したら、以下の手順に従ってシステムアップデートを行ってください。



## 1 ログイン

コンソールより、root でログインします。

GUARDIANWALL Ver7.4 の CD-ROM をドライブにセットし、マウントします。  
通常は CD-ROM をドライブにセットすると自動的に /cdrom 以下にマウントされます。  
CD-ROM のディレクトリに移動し、以下の inst コマンドを実行します。

```
# cd /cdrom/guardianwall  
# sh inst
```

上記の /cdrom/guardianwall は一例ですので、お使いの環境に合わせて変更してください。

お客様のプラットフォームに合ったパッケージが自動的に選択され、次節「2 アップデート」に移ります。

## 2 アップデート

### 2-1 製品の選択

ここから、GUARDIAN共通インストーラによる、アップデートとなります。

(LANG ja での画面です)

GUARDIANSUITE インストーラ Solaris 版 Copyright (c) 2011 Canon IT Solutions Inc.
1. <u>GUARDIANSUITE (管理サーバー) V4.5</u>
2. <u>GUARDIANWALL (検査サーバー) V7.4</u>
3. <u>WALL (検査サーバー) V7.4 plus SUITE (管理サーバー) V4.5</u>
Q. <u>終了</u>
製品の番号を入力してください。(規定値:[Q]uit)
入力:

インストーラが起動し、インストール可能なアプリケーションが表示されます。  
GUARDIANWALL Ver6.0 からは、管理サーバー、検査サーバーとインストールするアプリケーションパッケージが変更になっておりますので、アップデートするアプリケーションの番号を選択入力します。

## 2-2 管理サーバーのインストール

管理サーバーへは、既存のシステムが、GUARDIANSUITE( 管理サーバー )旧バージョン、もしくはGUARDIANWALL Ver5.0以上6.0未満の場合のみアップデートすることが可能です。

GUARDIANSUITE インストーラ Solaris 版 Copyright (c) 2011 Canon IT Solutions Inc.
1. <u>GUARDIANSUITE ( 管理サーバー ) V4.5</u> 2. <u>GUARDIANWALL ( 検査サーバー ) V7.4</u> 3. <u>WALL ( 検査サーバー ) V7.4 plus SUITE ( 管理サーバー ) V4.5</u> Q. <u>終了</u>
製品の番号を入力してください。( 規定値 : [Q]uit ) 入力 :

上記メニューから「1」を入力します。

### 2-2-1 管理サーバーのインストールメニュー

GUARDIANSUITE インストーラ Solaris 版 Copyright (c) 2011 Canon IT Solutions Inc.
<u>GUARDIANSUITE ( 管理サーバー ) のインストール</u> 1. <u>新規インストール</u> 2. <u>アップグレードインストール</u> 3. <u>アンインストール</u> 4. <u>GUARDIANWALL ( V6.0 未満 ) からのアップグレードインストール</u> B. <u>戻る</u>
実行したい項目の番号を入力してください。( 規定値 : [B]ack ) 入力 :

GUARDIANSUITE ( 管理サーバー ) 旧バージョンからアップデートする時は「2」を、GUARDIANWALL Ver6.0未満から管理サーバーへアップデートする時は「4」を入力します。

## 2-2-2 インストール先ディレクトリ容量確認

GUARDIANSUITE インストーラ Solaris 版  
Copyright (c) 2011 Canon IT Solutions Inc.

GUARDIANWALL (V6.0 未満) からのアップグレードインストール

インストールに必要なディレクトリ情報 ...

ディレクトリ名 : /opt  
必須ディスク容量 : 1024MB  
現在の空き容量 : 1885MB

このディレクトリにパッケージがインストールされます。

システム環境をチェックしています ...

続行しますか? [y/n]

管理サーバーがインストールされる領域である、/opt の容量が表示されます。  
内容を確認後、「y」を入力します。

## 2-2-3 インストール一時ディレクトリ容量確認

GUARDIANSUITE インストーラ Solaris 版  
Copyright (c) 2011 Canon IT Solutions Inc.

GUARDIANWALL (V6.0 未満) からのアップグレードインストール

インストールに必要なディレクトリ情報 ...

ディレクトリ名 : /var  
必須ディスク容量 : 100MB  
推奨ディスク容量 : 1024MB  
現在の空き容量 : 3957MB

このディレクトリを作業領域として使用します。

システム環境をチェックしています ...

続行しますか? [y/n]

管理サーバーのパッケージを展開する領域である、/var の容量が表示されます。  
内容を確認後、「y」を入力します。

/var は、インストール時の一時領域として使用されます。

## 2-2-4 パッケージ確認

GUARDIANSUITE インストーラ Solaris 版	
Copyright (c) 2011 Canon IT Solutions Inc.	
GUARDIANWALL (V6.0 未満) からのアップグレードインストール	
以下のパッケージがインストールされます。	
GRDNcore	: GUARDIANSUITE Core Package V4.5.00-000
GRDNlocal	: GUARDIANSUITE Tools Package V2.1.03-000
GRDNjre	: GUARDIANSUITE J2RE Package V1.4.2-010
GRDNadmin	: GUARDIANSUITE Admin Package V4.5.00-000
GRDNdb	: GUARDIANSUITE Database Package V8.1.20-000
インストールを続行しますか？ [y/n]	

更新されるパッケージが表示されます。

内容を確認し、「y」を入力します。

上記表示パッケージとそのバージョンは一例となります。

## 2-2-5 サービスの停止

GUARDIANSUITE インストーラ Solaris 版	
Copyright (c) 2011 Canon IT Solutions Inc.	
GUARDIANWALL (V6.0 未満) からのアップグレードインストール	
GUARDIANWALL サービスの停止	
sendmail サービスを停止しています ...	

管理サーバーもしくは GUARDIANWALL が稼働中のまま、アップデート作業を実施されている場合は、ここでサービスが停止されます。

MSP に sendmail を利用している場合は、sendmail も併せて停止され、オリジナルの sendmail が起動します。



## 2-2-6 パッケージの削除とインストール

GUARDIANSUITE インストーラ Solaris 版  
Copyright (c) 2011 Canon IT Solutions Inc.

GUARDIANWALL (V6.0 未満) からのアップグレードインストール

0% \*\*\*\*\*----- 100%

パッケージ <MGWall> を削除しています ...

GUARDIANSUITE インストーラ Solaris 版  
Copyright (c) 2011 Canon IT Solutions Inc.

GUARDIANWALL (V6.0 未満) からのアップグレードインストール

0% \*\*\*\*\*----- 100%

パッケージ <GRDNadmin> をインストールしています ...

旧バージョンのパッケージが削除され、新バージョンのパッケージが導入されます。  
追加されるパッケージに表示されていたパッケージが導入されます。

## 2-2-7 データベースディレクトリの指定

この項での記述は、GUARDIANSUITE（管理サーバー） Ver3.0 もしくは GUARDIANWALL Ver6.0 未満からアップグレードする際に実施する操作です。それ以外のバージョンからアップグレードを実施している場合は、次ページ以降をご覧ください。

GUARDIANSUITE(管理サーバー) Ver4.0から、データベースを利用するようになりました。インストール時に、このデータベースを格納するディレクトリを指定しなければなりません。

データベースディレクトリは、後から変更することができません。空き容量に十分余裕のある領域をあらかじめ準備しておいてください。

GUARDIANSUITE インストーラ Solaris 版 Copyright (c) 2011 Canon IT Solutions Inc.	
GUARDIANWALL (V6.0 未満) からのアップグレードインストール	
初期設定を開始します ...	
DatabaseDirectory	: /var/opt/Guardian/Admin/database/pgsql/
DBディレクトリを入力してください [/var/opt/Guardian/Admin/database/pgsql/]	
入力:	

ディレクトリのパスを入力します。

入力値の確認が求められますので、内容を確認後「y」を入力します。

その後、データベースを構築し、サービスを起動します。

## 2-2-8 管理サーバーの起動

```

GUARDIANSUITE インストーラ Solaris 版
Copyright (c) 2011 Canon IT Solutions Inc.

GUARDIANWALL (V6.0 未満) からのアップグレードインストール

GUARDIANSUITE 管理サーバーの起動

GUARDIANSUITE 管理サーバーを起動しています ...
入力 : y

```

パッケージの導入が全て完了すると、上記のとおり管理サーバーが起動されます。

## 2-2-9 インストール完了

```

GUARDIANSUITE インストーラ Solaris 版
Copyright (c) 2011 Canon IT Solutions Inc.

GUARDIANWALL (V6.0 未満) からのアップグレードインストール

#####
GUARDIANSUITE V4.5 のインストールは成功しました。

管理者ページの URL http://192.168.0.1:8080/login/

管理画面より、管理サーバーライセンスを登録する必要があります。
#####

何かキーを押してください... :

```

サービスが起動すると、管理者ページの URL が表示されます。

確認後、任意のキーを入力してください。

(上記 URL は動作確認に使用しますので控えておいてください)

画面に表示されている URL は一例となります。

また、GUARDIANSUITE(管理サーバー)旧バージョンよりアップデートした時は、画面下部にある管理サーバーライセンスに関するメッセージは表示されません。

## 2-2-10 インストールメニューの終了

GUARDIANSUITE インストーラ Solaris 版 Copyright (c) 2011 Canon IT Solutions Inc.	
1.	<u>GUARDIANSUITE (管理サーバー) V4.5</u>
2.	<u>GUARDIANWALL (検査サーバー) V7.4</u>
3.	<u>WALL (検査サーバー) V7.4 plus SUITE (管理サーバー) V4.5</u>
Q.	<u>終了</u>
製品の番号を入力してください。(規定値:[Q]uit)	
入力:	

インストールメニューに戻りますので、「q」を入力し、インストーラを終了してください。

## 2-3 検査サーバーのインストール

GUARDIANSUITE インストーラ Solaris 版 Copyright (c) 2011 Canon IT Solutions Inc.
1. <u>GUARDIANSUITE (管理サーバー) V4.5</u> 2. <u>GUARDIANWALL (検査サーバー) V7.4</u> 3. <u>WALL (検査サーバー) V7.4 plus SUITE (管理サーバー) V4.5</u> Q. <u>終了</u>
製品の番号を入力してください。(規定値:[Q]uit)
入力:

上記メニューから「2」を入力します。

### 2-3-1 検査サーバーのインストールメニュー

GUARDIANSUITE インストーラ Solaris 版 Copyright (c) 2011 Canon IT Solutions Inc.
GUARDIANSUITE (管理サーバー) のインストール
1. <u>新規インストール</u> 2. <u>アップグレードインストール</u> 3. <u>アンインストール</u> B. <u>戻る</u>
実行したい項目の番号を入力してください。(規定値:[B]ack)
入力:

「2. アップグレードインストール」を選択します。

## 2-3-2 インストール先ディレクトリ容量確認

GUARDIANSUITE インストーラ Solaris 版  
Copyright (c) 2011 Canon IT Solutions Inc.

アップグレードインストール

インストールに必要なディレクトリ情報 ...

ディレクトリ名 : /opt  
必須ディスク容量 : 1024MB  
現在の空き容量 : 1885MB

このディレクトリにパッケージがインストールされます。

システム環境をチェックしています ...

続行しますか？ [y/n]

アップグレードインストールが選択され、検査サーバーがインストールされる領域である、/opt の容量が表示されます。

内容を確認後、「y」を入力します。

## 2-3-3 インストール一時ディレクトリ容量確認

GUARDIANSUITE インストーラ Solaris 版  
Copyright (c) 2011 Canon IT Solutions Inc.

アップグレードインストール

インストールに必要なディレクトリ情報 ...

ディレクトリ名 : /var  
必須ディスク容量 : 100MB  
推奨ディスク容量 : 500MB  
現在の空き容量 : 3957MB

このディレクトリを作業領域として使用します。

システム環境をチェックしています ...

続行しますか？ [y/n]

検査サーバーのパッケージを展開する領域である、/var の容量が表示されます。

内容を確認後、「y」を入力します。

「/var」は、インストール時の一時領域として使用されます。

## 2-3-4 パッケージ確認

GUARDIANSUITE インストーラ Solaris 版	
Copyright (c) 2011 Canon IT Solutions Inc.	
<b>アップグレードインストール</b>	
以下のパッケージがインストールされます。	
GRDNcore	: GUARDIANSUITE Core Package V4.5.00-000
GRDNlocal	: GUARDIANSUITE Tools Package V2.1.03-000
GRDNjre	: GUARDIANSUITE J2RE Package V1.4.2-010
MGWall	: GUARDIANWALL Package V7.4.00-000
インストールを続行しますか？ [y/n]	

更新されるパッケージが表示されます。

内容を確認し、「y」を入力します。

上記表示パッケージとそのバージョンは一例となります。

## 2-3-5 サービスの停止

GUARDIANSUITE インストーラ Solaris 版	
Copyright (c) 2011 Canon IT Solutions Inc.	
<b>アップグレードインストール</b>	
GUARDIANWALL サービスの停止	
sendmail サービスを停止しています...	

GUARDIANWALLが稼働中のまま、アップデート作業を実施されている場合は、ここでサービスが停止されます。

MSP に sendmail を利用している場合は、sendmail も併せて停止されます。

パッケージ <MGwall> を削除しています ...

パッケージ <MGWall> をインストールしています ...

キヤノンITソリューションズ株式会社



### 2-3-7 管理サーバーの起動

GUARDIANSUITE インストーラ Solaris 版  
Copyright (c) 2011 Canon IT Solutions Inc.

アップグレードインストール

GUARDIANSUITE 管理サーバーの起動

GUARDIANSUITE 管理サーバーを起動しています ...

パッケージの導入が全て完了すると、上記のとおり、検査サーバーに含まれる管理サーバーと通信するための管理サーバーが起動されます。

なお、GUARDIANWALL Ver6.0 からアップデートした時で、すでに管理サーバーに登録されている検査サーバーの場合は、GUARDIANWALL サービスも起動されます。それ以外の場合は、管理サーバーへの登録時に GUARDIANWALL サービスが起動されます。

## 2-3-8 インストール完了

<p>GUARDIANSUITE インストーラ Solaris 版 Copyright (c) 2011 Canon IT Solutions Inc.</p> <hr/> <p>アップグレードインストール</p> <p>##### GUARDIANWALL V7.4 のインストールは成功しました。</p> <p>SMTTP サーバーの IP アドレス: 192.168.0.1    ポート番号: 25</p> <p>管理サーバーの画面から、この検査サーバーを追加登録してください。</p> <p>#####</p> <hr/> <p>何かキーを押してください...:</p>
--

GUARDIANWALL Ver6.0 からアップデートした時で、すでに管理サーバーに登録されている検査サーバーの場合は、上記のような検査サーバーの追加登録を求めるメッセージは表示されません。それ以外の場合は、メッセージどおり、検査サーバーを管理サーバーに追加登録してください。

確認後、任意のキーを入力してください。

画面表示は一例となります。

## 2-3-9 インストールメニューの終了

<p>GUARDIANSUITE インストーラ Solaris 版 Copyright (c) 2011 Canon IT Solutions Inc.</p> <hr/> <p>1. <u>GUARDIANSUITE (管理サーバー) V4.5</u></p> <p>2. <u>GUARDIANWALL (検査サーバー) V7.4</u></p> <p>3. <u>WALL (検査サーバー) V7.4 plus SUITE (管理サーバー) V4.5</u></p> <p>Q. <u>終了</u></p> <p>製品の番号を入力してください。(規定値:[Q]uit)</p> <hr/> <p>入力:</p>
--

インストールメニューに戻りますので、「q」を入力し、インストーラを終了してください。

## 2-4 管理 + 検査サーバーのインストール

管理 + 検査サーバーへは、既存のシステムが、GUARDIANSUITE(管理サーバー) Ver3.0 以上と GUARDIANWALL Ver6.0 以上が同一筐体に導入されているか、もしくは GUARDIANWALL Ver5.0以上6.0未満が導入されている場合のみアップデートすることが可能です。

GUARDIANSUITE インストーラ Solaris 版 Copyright (c) 2011 Canon IT Solutions Inc.
1. <u>GUARDIANSUITE (管理サーバー) V4.5</u> 2. <u>GUARDIANWALL (検査サーバー) V7.4</u> 3. <u>WALL (検査サーバー) V7.4 plus SUITE (管理サーバー) V4.5</u> Q. <u>終了</u>
製品の番号を入力してください。(規定値:[Q]uit) 入力:

上記メニューから「3」を選択します。

### 2-4-1 管理 + 検査サーバーのインストールメニュー

GUARDIANSUITE インストーラ Solaris 版 Copyright (c) 2011 Canon IT Solutions Inc.
GUARDIANSUITE (管理サーバー) のインストール 1. <u>新規インストール</u> 2. <u>アップグレードインストール</u> 3. <u>アンインストール</u> B. <u>戻る</u>
実行したい項目の番号を入力してください。(規定値:[B]ack) 入力:

「2. アップグレードインストール」を選択します。

## 2-4-2 インストール先ディレクトリ容量確認

GUARDIANSUITE インストーラ Solaris 版  
Copyright (c) 2011 Canon IT Solutions Inc.

アップグレードインストール

インストールに必要なディレクトリ情報 ...

ディレクトリ名 : /opt  
必須ディスク容量 : 1024MB  
現在の空き容量 : 1885MB

このディレクトリにパッケージがインストールされます。

システム環境をチェックしています ...

続行しますか？ [y/n]

アップグレードインストールが選択され、管理 + 検査サーバーがインストールされる領域である、/opt の容量が表示されます。

内容を確認後、「y」を入力します。

## 2-4-3 インストーラ一時ディレクトリ容量確認

GUARDIANSUITE インストーラ Solaris 版  
Copyright (c) 2011 Canon IT Solutions Inc.

アップグレードインストール

インストールに必要なディレクトリ情報 ...

ディレクトリ名 : /var  
必須ディスク容量 : 100MB  
推奨ディスク容量 : 1024MB  
現在の空き容量 : 3957MB

このディレクトリを作業領域として使用します。

システム環境をチェックしています ...

続行しますか？ [y/n]

管理 + 検査サーバーのパッケージを展開する領域である、/var の容量が表示されます。内容を確認後、「y」を入力します。

「/var」は、インストール時の一時領域として使用されます。

## 2-4-4 パッケージ確認

```

GUARDIANSUITE インストーラ Solaris 版
Copyright (c) 2011 Canon IT Solutions Inc.

アップグレードインストール

以下のパッケージがインストールされます。
GRDNCORE      : GUARDIANSUITE Core Package V4.5.00-000
GRDNILOCAL    : GUARDIANSUITE Tools Package V2.1.03-000
GRDNJRE       : GUARDIANSUITE J2RE Package V1.4.2-010
MGWALL        : GUARDIANWALL Package V7.4.0-000
GRDNADMIN     : GUARDIANSUITE Admin Package V4.5.00-000
GRDNDB        : GUARDIANSUITE Database Package V8.1.20-000

インストールを続行しますか？ [y/n]

```

更新されるパッケージが表示されます。

内容を確認し、「y」を入力します。

上記表示パッケージとそのバージョンは一例となります。

## 2-4-5 サービスの停止

```

GUARDIANSUITE インストーラ Solaris 版
Copyright (c) 2011 Canon IT Solutions Inc.

アップグレードインストール

GUARDIANWALL サービスの停止

GUARDIANWALL サービスを停止しています ...

```

管理サーバーや GUARDIANWALL が稼働中のまま、アップデート作業を実施している場合は、ここでサービスが停止されます。

MSP に sendmail を利用している場合は、sendmail も併せて停止されます。

パッケージ <MGwall> を削除しています ...

パッケージ<MGWall>をインストールしています...

旧バージョンのパッケージが削除され、新バージョンのパッケージが導入されます。  
追加されるパッケージに表示されていたパッケージが導入されます。

## 2-4-7 データベースディレクトリの指定

この項での記述は、GUARDIANSUITE（管理サーバー） Ver3.0 もしくは GUARDIANWALL Ver6.0 未満からアップグレードする際に実施する操作です。それ以外のバージョンからアップグレードを実施している場合は、次ページ以降をご覧ください。

GUARDIANSUITE( 管理サーバー ) Ver4.0 から、データベースを利用するようになりました。インストール時に、このデータベースを格納するディレクトリを指定しなければなりません。

データベースディレクトリは、後から変更することができません。空き容量に十分余裕のある領域をあらかじめ準備しておいてください。

GUARDIANSUITE インストーラ Solaris 版 Copyright (c) 2011 Canon IT Solutions Inc.	
アップグレードインストール	
初期設定を開始します ...	
DatabaseDirectory	: /var/opt/Guardian/Admin/database/pgsql/
DBディレクトリを入力してください [/var/opt/Guardian/Admin/database/pgsql/]	
入力:	

ディレクトリのパスを入力します。

入力値の確認が求められますので、内容を確認後「y」を入力します。

その後、データベースを構築し、サービスを起動します。

入力:  $y$

入力：y

キヤノンITソリューションズ株式会社



## 2-4-9 インストール完了

GUARDIANSUITE インストーラ Solaris 版  
Copyright (c) 2011 Canon IT Solutions Inc.

### アップグレードインストール

```
#####
GUARDIANWALL V7.4 のインストールは成功しました。
GUARDIANSUITE V4.5 のインストールは成功しました。
```

```
管理者ページの URL http://192.168.0.1:8080/login/
SMTP サーバーの IP アドレス : 192.168.0.1   ポート番号 : 25
#####
```

何かキーを押してください... :

サービスが起動すると、管理者ページの URL が表示されます。

確認後、任意のキーを入力してください。

(上記 URL は動作確認に使用しますので控えておいてください)

画面に表示されている URL は一例となります。

## 2-4-10 インストールメニューの終了

GUARDIANSUITE インストーラ Solaris 版  
Copyright (c) 2011 Canon IT Solutions Inc.

1. GUARDIANSUITE (管理サーバー) V4.5
2. GUARDIANWALL (検査サーバー) V7.4
3. WALL (検査サーバー) V7.4 plus SUITE (管理サーバー) V4.5
- Q. 終了

製品の番号を入力してください。(規定値:[Q]uit)

入力:

インストールメニューに戻りますので、「q」を入力し、インストーラを終了してください。

### 3 動作確認

インストール終了後ウェブブラウザにて管理サーバーのURLに接続し以下の項目をご確認ください。

#### 3-1 管理サーバーへのバージョンアップの場合

- (1) 管理画面へアクセスが可能なこと。
- (2) 既存のアカウントで管理者ログインできること。
- (3) 「共通」-「管理サーバー管理」-「状況確認」-「稼動状況」で「httpd」と「postmaster」プロセスが起動していること。

■ 稼動状況						
プロセス	PID	PPID	VSZ(KB)	RSS(KB)	PRI	NICE
httpd	12826	5957	17296	11568	100	RT
httpd	12827	5957	16784	11240	100	RT
httpd	12828	5957	16536	10880	100	RT
httpd	12829	5957	17032	11456	100	RT
httpd	12830	5957	16696	11072	100	RT
httpd	14432	5957	17360	11608	100	RT
httpd	14446	5957	15744	10136	100	RT
httpd	25153	5957	15768	10160	100	RT
httpd	5957	1	11216	6352	100	RT
postmaster -D /var/opt/Guardian/Admin/database/pgsql -S	7324	1	19080	13592	58	20
postmaster -D /var/opt/Guardian/Admin/database/pgsql -S	7325	7324	6784	1544	59	20
postmaster -D /var/opt/Guardian/Admin/database/pgsql -S	7327	7324	19120	12864	59	20
postmaster -D /var/opt/Guardian/Admin/database/pgsql -S	7328	7324	7784	2520	59	20
postmaster -D /var/opt/Guardian/Admin/database/pgsql -S	7329	7328	7008	1816	59	20

- PID: プロセスID、PPID: 親プロセスのプロセスID
- VSZ: 仮想記憶中のプロセスの合計サイズ、RSS: プロセスの常駐セットサイズ
- PRI: プロセスの優先順位、NICE: プロセスのシステムスケジューリング優先順位

上記画面は一例です。

以上で、アップデート作業は終了です。

### 3-2 検査サーバーへのバージョンアップの場合

- (1) 管理サーバーと通信するための管理サーバーが起動していること。  
コマンドラインから ps コマンドで確認。

```
#
# ps -ef | grep httpd
nobody 28886 28881 0 19:28:00 ? 0:00 /opt/Guardian/Admin/httpd/bin/httpd
nobody 28903 28881 0 19:28:05 ? 0:00 /opt/Guardian/Admin/httpd/bin/httpd
nobody 28883 28881 0 19:28:00 ? 0:00 /opt/Guardian/Admin/httpd/bin/httpd
nobody 28884 28881 0 19:28:00 ? 0:00 /opt/Guardian/Admin/httpd/bin/httpd
nobody 28885 28881 0 19:28:00 ? 0:00 /opt/Guardian/Admin/httpd/bin/httpd
root 28881 1 1 19:27:59 ? 0:00 /opt/Guardian/Admin/httpd/bin/httpd
nobody 28882 28881 1 19:28:00 ? 0:00 /opt/Guardian/Admin/httpd/bin/httpd
#
```

上記画面は一例です。

以上で、アップデート作業は終了です。

### 3-3 管理 + 検査サーバーへのバージョンアップの場合

- (1) 管理画面へアクセスが可能なこと。  
(2) 既存のアカウントで管理者ログインできること。  
(3) 「共通」-「管理サーバー管理」-「状況確認」-「稼動状況」で「httpd」と「postmaster」プロセスが起動していること。  
前ページと同様の確認になります。  
(4) 「共通」-「検査サーバー管理」-「状況確認」-「詳細」-「稼動状況」で状態が「稼動中」であること。

稼動状況

状態

稼動中

プロセス一覧

プロセス	PID	PPID	VSZ(KB)	RSS(KB)	PRI	NICE
sendmail -q30m	6586	1	4552	1416	48	20
mw_mss -d -q	7777	1	6160	1432	48	20
mw_store -d	7784	1	2560	1312	48	20

○ PID: プロセスID、PPID: 親プロセスのプロセスID

○ VSZ: 仮想記憶中のプロセスの合計サイズ、RSS: プロセスの常駐セットサイズ

○ PRI: プロセスの優先順位、NICE: プロセスのシステムスケジューリング優先順位

上記画面は一例です。

## 4 アップデート時の注意点

### 4-1 /varについて

/var領域は、インストール時にパッケージ展開領域として使用されますが、通常運用時は、sendmailのキュー領域( /var/spool/mqueue )などに利用されますので、本インストール作業用だけでなく、できるだけ多くの空き容量を確保することを推奨いたします。

### 4-2 /opt等がリンクの場合

/opt領域は、GUARDIANWALLがインストールされる領域ですが、/optがシンボリックリンクの場合や、/optにGUARDIANWALLを導入後、別ディレクトリに移動した場合は、インストールに失敗する可能性があり、動作保証をいたしかねますので、ご注意ください。

### 4-3 設定ファイルのバックアップについて

GUARDIANWALLでは、アップデート時に、既存バージョンの設定ファイルのバックアップを実施しています。

/opt/Guardian/backupへバックアップが実施されますので、ご確認ください。

### 4-4 アップデート後のパッケージ確認

GUARDIANWALLでは、パッケージ確認用スクリプトとして、

管理サーバー用 : /opt/Guardian/WALL/support

検査サーバー用 : /opt/Guardian/Admin/support

に「sanity\_chk.pl」スクリプトを用意しております。

```
# ./sanity_chk.pl
```

として実行し、「SANITY CHECK: OK」が表示されることをご確認ください。

(インストール時に作成されるファイルのサイズ等を確認しておりますので、デフォルトで用意される条件セットを削除等している場合はエラーになることがあります。)

SUN SPARC 版限定です。

### 4-5 評価用ライセンスでのアップデートについて

GUARDIANWALLでは、評価用ライセンスに制限を設けており、通常の評価用ライセンスではアップデートは実施できません。

検証等で、評価版を用いアップデートを試される場合は、バージョンアップが可能な評価用のライセンスを発行いたしますので、サポート窓口までご連絡ください。



(2) 表示したページ上部に設定削除を促すメッセージ(赤字)がないか確認します  
例)「保存メールアーカイブデータ」のスケジュール設定を削除してください。  
括弧「」内は、設定済の項目により異なります。

(3) メッセージがある場合はその指示に従い、その項目のスケジュールを削除してください

## 4-8 カーネルチューニング

Ver6.0以前からアップグレードする場合の注意点を記述します。

本システム(管理サーバー)は、一部のデータ保存用に、データベースソフトウェアのPostgreSQLを利用します。PostgreSQLではOSの共有メモリとセマフォを利用するため、本システムをインストールする前にカーネルの設定値を、本システムのPostgreSQLの稼動に必要な値より大きく設定する必要があります。これらの設定が本システムで利用するPostgreSQLが要求する値よりも小さい場合は、本システムのインストール時に行うデータベースの初期化に失敗します。

ご使用するOSの共有メモリやセマフォの設定が、以下に示す本システムの稼動に必要な共有メモリとセマフォの値より大きくなるよう設定をしてください。

本システムの稼動に必要な共有メモリとセマフォの設定

名前	説明	稼動に必要な値
SHMMAX	共有メモリセグメントの最大サイズ	16 MB以上
SEMMNS	システム全体のセマフォの最大数	250以上

Solaris9のデフォルト設定では、以上の設定値が小さすぎるため、設定を変更する必要があります。

共有メモリとセマフォの設定の確認及び変更方法については、ご使用のOSのマニュアルをご覧ください。

## 4-9 キーワード検査辞書の互換性

Ver7.1以前からアップグレードする場合の注意点を記述します。

本システムのキーワード検査モジュールが変更され、辞書ファイルのバイナリ互換性がなくなりました。アップデート時にキーワード検査辞書は設定ファイルから再構築されます。

また、新モジュールではフレーズキーワードが導入されました。これは半角ダブルクォート「"」で囲んだ文字列をキーワードとする機能で、空白文字を含んだキーワードが定義できます。

なお、旧モジュールで「"」を含んだキーワードをすでに登録している場合、前述のアップデートにおける再構築では、そのままフレーズキーワードとして作用します。このようなキーワードをご利用の場合は、「"」の前にエスケープ記号¥を付与することで、フレーズキーワードとして作用しなくなります。

(例) "Network Security"

¥ "Network Security ¥"

なお、上記の修正を実施しないでアップデートを実施した時に、辞書ファイルの再構築に失敗する場合( 1)があります。この時、GUARDIANWALLは初期状態の辞書ファイルで起動します。

したがって、アップデート実施前には現状のキーワード検査の定義を確認し、半角ダブルクォーテーションに対してエスケープ記号の付与を実施することを推奨します。

( 1) 半角ダブルクォーテーションがキーワード内に1つしかない場合など

## 4-10 cronについて

GUARDIANWALL では、アップデート時に、cron の登録内容を編集しています。  
/opt/Guardian以下に独自にコマンドを設置し、cronで実行している場合は、アップグレード後に当該の登録内容が削除される場合がありますので、ご注意ください。

## 4-11 ネットワーク設定に関する注意事項

GUARDIANWALL Ver7.2.00 以上では、管理サーバーから検査サーバーへ通信する際の認証処理を強化し、より厳格なチェックを行うようになりました。

そのため、管理サーバー、検査サーバーの構成において、通常のサービス (SMTP) とは別に、データ通信用 (管理サーバーが検査サーバーからログ収集する) のセグメントを用意している場合、バージョンアップ後に、管理サーバーから検査サーバーの通信で【接続拒否】となる場合があります。

そのような事象が確認された場合、『管理サーバー 利用の手引き ~ GUARDIANWALL、WEBGUADIAN 共通 ~』の「14-2 ネットワーク設定に関する注意事項」(497 ページ) を参照して、回避方法を実施してください。



## 5 Ver5.0以前からアップデートされる場合の注意点

### 5-1 ディレクトリ変更について

Ver5.1 より、インストールディレクトリが /opt/Guardian 変更になりました。

( Ver5.0 )	( Ver5.1 / 5.3 / 6.0 / 7.0 / 7.1 / 7.2 / 7.3 / 7.4 )
/opt/MailGuardian	/opt/Guardian

この変更にともない /opt/MailGuardian 以下にある、設定ファイル、グループファイル、ログファイル、保留メールは全て /opt/Guardian へ移動されます。

よって /opt/MailGuardian 以下の領域に対して Disk パーティションをマウントされている場合は Disk パーティションの構成を再度ご確認ください。

### 5-2 サンプルスクリプトについて

Ver6.0 より、管理サーバー、検査サーバーと構成が変更されており、また、廃止されたスクリプト( 標準機能として管理画面から操作 )もございますので、旧バージョンのスクリプトから新バージョンに付属するスクリプトをご利用の環境に合わせ、再度ご設定いただきますようお願いします。

スクリプトの変更は、以下になります。

( 廃止 )

backup.pl, repo.pl, stat.pl

( 移動 /opt/Guardian/Admin/wall/support へ )

getmail.pl, ldap\_import.pl, mklog.pl, trans\_sample.pl, xfer\_sample.pl

( 移動 /opt/Guardian/Admin/support へ )

adm\_passwd, mng\_passwd, sys\_passwd, usr\_passwd, sanity\_chk.pl

( そのまま /opt/Guardian/WALL/support )

rescue.pl, sanity\_chk.pl, watch.pl

### 5-3 通知文について

Ver5.1 より、通知文における理由表示（保留理由、削除理由）が以下のように、MIME タイプ検査条件やキーワード検査条件にて検査NGとなった場合の条件ID番号が表示されなくなりました。

（ Ver5.0 ）

---- 保留理由 ----

検出場所（メールヘッダ、添付ファイル名等）

ID 番号 検出内容（MIME タイプ、ファイル名、キーワード）

--

（ Ver5.1 / 5.3 / 6.0 / 7.0 / 7.1 / 7.2 / 7.3 / 7.4 ）

---- 保留理由 ----

検出場所（メールヘッダ、添付ファイル名等）

検出内容（MIME タイプ、ファイル名、キーワード）

--

検査・配送ルールにて保留した場合は、従来どおり検査・配送ルールの ID 番号が表示されます。

MEMO